



## モリ・カケ・桜逃れの安倍、「自助・共助・公助」の 菅を引き継ぐ岸田政権誕生を労働者の力で阻止しよう！

### 総裁－首相－解散へ岸田走る！

菅の支持率低下を見こして自民党の総裁選。連日テレビで重大ニュースそっちのけで、予想屋・御用評論家が自民党各派閥の動向を伝えた。当初地方の党員の支持が高い河野太郎がリードしているかに見えたが、結局3A(安倍、麻生、甘利)の後押しで、岸田が総裁に。すぐに衆・参両院で首相指名選挙。出来レースの岸田首相誕生。矢継ぎ早に10月14日の衆院解散。世論調査によると岸田支持率49%、不支持23%(NHK)。いつものように御祝儀相場だが、今年の菅総理誕生の時よりも10ポイント低い。自民党政権の御用放送局となっているNHKの世論調査が有権者を自民党政権継続に導いているが、この低さは特徴的だ。解散前のわずかな国会の代表質問で、立憲民主の枝野が、モリトモ文書改ざん事件で自殺した近畿財務局赤木俊夫さんの妻の手紙を紹介し、この真相を検討する必要がある、と質したのに対し、岸田は「すでに処理済み」と一蹴。

### 安倍－菅の継承を公言してはばからない 岸田の本性

「被爆地広島」からの総理誕生と湧く地元広島。実は東京出身(東京新聞)。被爆者に「寄り添う」ポーズで悦に入る岸田だが、本年1月に成立・発効した核兵器禁止条約にも反対。日米同盟を基軸とした核独占保有国アメリカに「寄り添う」本性を現したのである。

安倍の継承もはっきり宣言。「成長から分配へ」。何のことはない、「アベノミクス」そのままの経済政策。法人税引き下げ、大企業の内部留保が増え続けている中で、上から滴り落ちる大企業のもうけを下の方で労働者人民が、そのおこぼれにあずかるという荒唐無稽、ここに極まれり。菅の自己責任論も(貧乏なもの自己責任論)踏襲。

安倍－菅の極悪反動継承内閣が、まさに誕生してい

ることに、正面からこの資本主義(岸田は新しい資本主義とうそぶいている)を根本的にひっくり返す思想・哲学・道理をつくり出さなければならない。

### 高市早苗と維新の登場の意味

自民党総裁選で党利党略にまみれた茶番劇の中でも、当初安倍が一押しの高市早苗の登場を軽く見るわけにはいかない。決選投票で、高市を推した安倍が結局、事前有力視されていた河野を追い落とす原動力になった上に、党の役職で甘利幹事長とともに高市が政調会長に就任した。靖国参拝を公然と唱え、8・15には公然と参拝するばかりか、及び腰の自民党官僚の尻を叩き続ける高市。厚化粧の下に隠された天皇制支持、夫婦別姓反対の高市を今後とも強く批判していかなければならない。一方、維新の全国展開も直視しなければならない。橋下徹の失脚、二度にわたる大阪市をなくす住民投票での挫折がありながらも、府議会で多数を頼みに府条例で住民投票敗北の失地回復。今般の衆院選挙では広く関西一円に候補者擁立。

ことは、維新の支持が全国展開になろうとしていることだ。その兆候は先の都知事選に現れている。

### だから自公・維新をまるごと打倒へ！

「自由で開かれたインド・太平洋」。米大統領バイデンが日本を巻き込む中国包囲網の支配戦略。そのためには、自国の人種差別そっちのけで「新疆ウイグル族の人権抑圧」などと叫ぶ。岸田もまたこれに同調。入管でのスリランカ女性の自殺、在日朝鮮学校への補助金不支給、差別と抑圧が満ち溢れているのだ！

闘いは選挙に集約されるものではない。だが、そこから自公政権打倒の道筋を拓くことは十分に可能だ。

さらに根本的には、労働組合、住民・市民運動が、究極的に安保廃絶、原発・核燃サイクルなくせ、消費税全廃に進むことにある。ガンバロー！

# 「自由で開かれたインド・太平洋」戦略は、世界の労働者階級に何をもたらすか

## 米帝アフガン撤退・敗北の巻き返し

米帝バイデンが大統領に就任した本年冒頭、就任演説で早くも「自由で開かれたインド・太平洋戦略」を打ち出した。前年当選直後から20年にわたるアフガン侵略をこれ以上続けられないという「アメリカの支配の危機」を表明していたのである。その時点で翌年2021年9月までに米軍駐留を止め、完全に軍を引揚げ、あとはアメリカが育成してきたアフガン国軍の統治に任せると「完全撤退」の意味をほかしたのである。

米帝にとって、アジアへの反共防波堤として「ドミノ理論」を大義名分としたベトナム戦争の敗北に次ぐ大敗北である。しかし、バイデンは間近になって「30万のアフガン国軍が20年間の米の指導・教育・訓練によっても、まともに戦える軍隊になっていなかった」と腹いせにアフガン軍隊の脆弱さに八つ当たりしている始末。

しかし、ここ数年のアジア侵略の最大の狙いは、やはり「ならず者国家」の本丸中国の封じ込めにあったことがはっきりしたのである。「一帯一路」の南方への進出は、反米のイランをはじめ、イスラム諸国との連携の可能性を壊し、それを阻むために、かねてより核開発援助を通して親米政権を樹立しているヒンズーインドとの同盟を図って来た。

クワッド(QUAD)の誕生である。日本に即してみれば、戦後ソ連の世界支配を許さないためにつくられた日米安保が、「極東の平和と安全」をタテに、日本を「反共の砦」としたことを、1991年のソ連崩壊以前に転換させた。さらに石油権益を確保するために、リビア、イラクのイスラム国を崩壊させ、イスラエルの後ろ盾になってパレスチナを迫害してきたのである。

## 台湾海峡波高し

中国封じ込めを最大の戦略目標にした米帝は、今、南西諸島への中国の海洋進出に、台湾をテコに、対中国封じ込めを強めている。そのためには、日米同盟をテコに日本に対中国シフトとしての、辺野古基地新設、南西諸島への自衛隊配備、宮古島ミサイル基地建設を進めさせたのである。

中国は、「台湾は中国の一部である」と猛反発。台湾

が主張している防空識別圏内に最新鋭戦闘機をひんばんに飛来させているのだ。文字通り、「台湾海峡波高し」である。

先日「誕生」した自民党岸田政権は、各政党の質問に答える中で、日本の安全保障(?)に触れ、決まり文句の「自由で開かれたインド・太平洋戦略」を及び腰に表明、クワッドの一員としての責任を自覚していると発言。しかし、その心は、中国との貿易の比率がますます高まり、ここ10年の日本を訪れる外国人観光客は、ここ2年のコロナ禍で途切れているものの、断然トップであることを腹に収めて。自動車、電機などの国内からの工場移転、深圳の経済特区での中国との結びつきは、日本経済にとっては、抜き差しならぬところである。

米帝は日本の対中国二重基準を見抜いている。「自国の経済的利益」のために、対中国弱腰外交になることを牽制している。

だが、こうした政治的解決かけ引きなどが通用しないような事態が起きる可能性は高い。中国はすでに「台湾が中国領土の一部である」ことを表明し、「アメリカの強力な後押しで中国に刃向うのであれば、最新兵器を装備した100万人の人民解放軍で占領する」と強硬な姿勢。

偶発戦争は起こりうる。その時、米帝は自国の軍隊よりも、日米共同軍事演習で兵力増強を図る自衛隊に最前線で闘えと命令することは必至。「集团的自衛隊」発動本番が現実に来ようとしている。

## 世界の労働者階級はこの事態に何をなすべきか

大げさではなく、第三次世界大戦もあり得るような、米帝の対中国封じ込め作戦を止めさせるには、世界の労働者階級がかつての世界大戦への協力を猛省しなければならぬのである。

このような事態になれば、沖縄が真っ先に最前線「不沈空母」になること必至。米帝の軍事同盟＝日米安保の廃棄に向けた闘いが不可欠であり、2000万人の虐殺をもたらした中国侵略の歴史的反省がその第一歩である。

## 謹告 佐藤副委員長逝く

副委員長佐藤陽治氏が、去る10月4日午前6時半、肺炎のため亡くなりました。享年85歳。

佐藤氏は、60歳代より、前傾歩行などのパーキンソン症状が現れ、70歳代に入ってからパーキンソン病の難病認定を受けました。以来、通算25年間パーキンソン病と闘ってきました。しかし、一昨年頃からパーキンソン病が原因での、呑み込む力が弱まり、昨年6月、胸に膿が溜まる膿胸で入院しました。

その後誤嚥性肺炎の継続治療とパーキンソン病の治療で都立神経病院に転院。コロナ禍の折から面会禁止のため、家族は症状を把握できないでいました。

家族の強い要望で11月末に退院し、自宅での在宅療養を始めましたが、38度以上の熱には、自宅では点滴ができないため、再度入院。治ると退院、を繰り返していました。それでも、今年4月に退院してから7月に至るまで、在宅療養で肺炎の症状も鎮静化し、熱も出ず、体力も少しずつ回復していました。これまで体力不足のためにできなかった胃腸の手術ができるとして、入院して7月26日に手術をし、成功しました。8月5日頃退院の話をしている中、病院内にコロナ患者が発生。佐藤氏も院内感染しました。恐れていた重症化・死亡でしたが、コロナを克服、8月30日に退院しました。しかし、コロナの重症化を免れたとはいえ、もともとの誤嚥性肺炎があったため、症状は入院前と違い、酸素吸入をしても酸素濃度が思わしくない状態が続いていました。それでも9月の中頃までは意識もはっきりしており、意思疎通もできていました。その後徐々に意思疎通ができる時間が少なくなり、ほとんど朦朧状態の時間が長くなりました。意識のある内にと、陽さんに会いたいという人に声をかけ、5人の人たちが来てくれました。はっきりした反応はなかったものの、声は確実に届いたと思います。

会いたい人に会えたからか、翌日朝、呼吸する力を失い、老衰のように亡くなりました。

「陽さん」と通称で呼ばれ、多くの人とその誠実で一所懸命闘う魂に触れ、敬愛の念を抱いていました。

1936年生まれ。1931年「満州事変」から、本格的な中国侵略の開始。その5年後に生まれたのです。1941年、日米開戦。翌年ミッドウェー会戦で手痛い敗北を喫した日本は、抗戦中国の抵抗に会い、総じて戦局は急速に悪化。佐藤少年は秋田に学童疎開。国民学校3

年の時に敗戦。

こうした幼少期の戦争－疎開体験が、後に「本土決戦の捨て石」と呼ばれた沖縄の惨状、サンフランシスコ講和条約－日米安保、米国の「反共の砦」としての日本が、自身の反戦闘争の原点となりました。本紙に「沖縄連載」を開始したのもこうした体験を原点にし、全ての元凶は日米安保、その地位協定にあり、廃止するべしという強い思いからでした。

中央大学を卒業後、大手専門紙化学工業日報に入社。業界紙記者として誠実に取材、正確な記事を発表する一方、労働組合の中心活動を開始、劣悪な専門紙労働者の賃金・労働条件を引き上げる春闘を組織。職場の多くの労働者が信頼を寄せました。1960年代後半、ベトナム戦争の激化の中で、反戦青年委員会に結集し、1969年佐藤訪米阻止闘争に参加、逮捕・起訴されましたが、下獄1年、復職を果たしたのです。

「解雇・組合潰し」攻撃に立ち上って、全国の争議団との連帯、とりわけ仙台の全金本山の暴力労政に反対し、東京から多くの労働者を糾合して先頭に立ち、闘いました。さらに、1988年国鉄分割民営化にも敢然と立ち上がりました。レーガン、サッチャー、中曽根の元祖新自由主義に対し、これに反撃する動労千葉をはじめとした闘いに惜しみない支援を注ぎ、9条改憲反対の固い信念をもって分割民営化反対に立ち上がったのです。

「破防法組対法に反対する共同行動」に亡き鈴木卓さんと共に積極的に参加。国会には2人して傍聴闘争を貫徹しました。

60年以上にわたる陽さんの命を削った闘い。難病と闘いながら時にはブリタニカ闘争に、椅子に座っての参加。その志は気高く、まだまだ生きながらえて一緒に闘いたかった無念の気持ちはぬぐい難いが、今は、これから弔い合戦として、ブリタニカ闘争、戦争・改憲・治安強化に反対する闘いを闘います。

陽さん、どうか我々の闘いを天上から叱咤激励してください。

2021年10月14日

国会解散のその日に  
執行委員長 三角 忠

◆◆◆ ユニオン東京合同のお知らせ ◆◆◆

## 第32回 731 ビデオ学習会 「まぼろしの少年隊員」

- 日時：10月23日(土) 13:30～17:00
- 場所：港区立商工会館2階研修室  
(港区海岸1-4-28 Tel 03-3433-0862)
- 解説：近藤昭二さん(ジャーナリスト)  
「まぼろしの少年隊員」の回顧録
- 主催：NPO法人731部隊・細菌戦資料センター

## 南西諸島での大軍事演習に 反対する10・24集会&デモ

- 日時：10月24日(日) 13:30～集会  
18:00～防衛省デモ
- 集会：文京シビックセンター4Fシルバーホール
- 講師：額瀨厚さん(明治大学特任教授)  
「中国脅威論を口実とした南西諸島軍拡の狙い」
- 資料代：500円
- デモ結集場所：外堀公園(JR市ヶ谷駅徒歩1分)
- 主催：大軍拡と基地強化にNO!アクション2021

## 警察法討論会

### 「警察法『改正』を問う」

- 日時：11月3日(水) 18:00～
- 場所：南部労政会館
- 講師：足立昌勝さん
- 主催：破防法・組対法に反対する共同行動

## 11・7講演討論会

### 日本の刑罰制度はどう変わるのか

#### — 新自由刑とは何か —

- 日時：11月7日(日) 13:30～
- 場所：滝野川西区民センターふれあい館  
6階第一ホール
- 講演：石塚伸一さん(龍谷大学法学部教授)
- 主催：刑法・少年法改悪に異議あり!  
緊急アクション
- 会場費：500円

組合活動日誌			
月	日	曜	活動内容
9	17	金	満州事変90周年：緊急集会
	25	土	重慶大爆撃を語り継ぐ会講演会
	30	木	定期執行委員会
10	12	火	ふじせ企画労組「新新損賠」控訴審
スケジュール			
月	日	曜	活動内容
10	19	火	明大生協労組 執行官保管攻撃裁判 11:00 東京地裁411号法廷
	21	木	阿佐ヶ谷市民講座「この国の外国人政策」 18:30～ 荻窪地域区民センター 4・5集会室
	23	土	第32回 731ビデオ学習会 13:30～17:00 港区立商工会館 ★
	24	日	南西諸島での大軍事演習に反対する 10・24集会&防衛省デモ 13:15～ ★
11	3	水	警察法討論会 18:00～ 南部労政会館 ★
	7	日	11・7講演討論会 「日本の刑罰制度はどう変わるのか」 13:30～ 滝野川西区民センター ★
	8	月	ふじせ企画労組「サクラ損賠」 第2回口頭弁論 11:30～ 東京地裁421号法廷

★は左に詳細案内掲載

闘争カンパをお願いします!  
郵便振替口座  
00110-8-120661  
ユニオン東京合同